

マツモトこすめーる

誰でも簡単！粘度がぶれない！

Vol.80

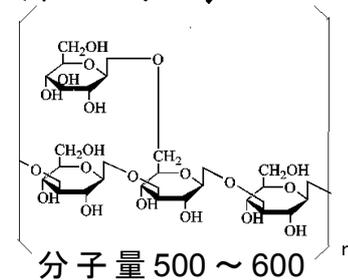
AMIGEL 膨潤方法

AMIGEL とはこんな原料

(アミジェル)



AMIGEL は *Sclerotium rolfsii* の発酵で得られる天然増粘剤です。少量添加(0.1%~)するだけで、チクソトロピー性を示す独特な感触の透明ゲルが得られます。安定化剤としても利用され、その感触は肌の上ではよく滑り、乾く瞬間のつっぱり感もなく、高級感を演出する事ができます。また、乳化剤フリーのエマルジョンを作る事ができ、ナチュラル志向のコンセプトにもお勧めです。



天然多糖類の乳化安定化剤。
耐塩性もあり、アルコール耐性もある。
スキンケア製品では優れた感触を付与。

しかし、今まで使用しづらいとの声がありました…

何故！？



扱い方により、粘度がぶれてしまう事が最大の原因！

今回はディスパーだけで安定増粘させ、なおかつ低温で離水する性質を改善したゲルを作ることが出来る方法をお伝え致します。



作り方は裏面へ





要チェック！

— AMIGEL 膨潤方法 —

工程

※先に AMIGEL 混合物を作り、その後下記工程を踏む事で完成です。

原料名	メーカー	表示名称	高温分散
AMIGEL	AMI	スクレロチウムガム	2.00
NATROSOL 250HH	HERCULES	ヒドロキシエチルセルロース	0.40
1,3-BG	タイセル	BG	20.00
精製水		水	77.60
合計			100.00

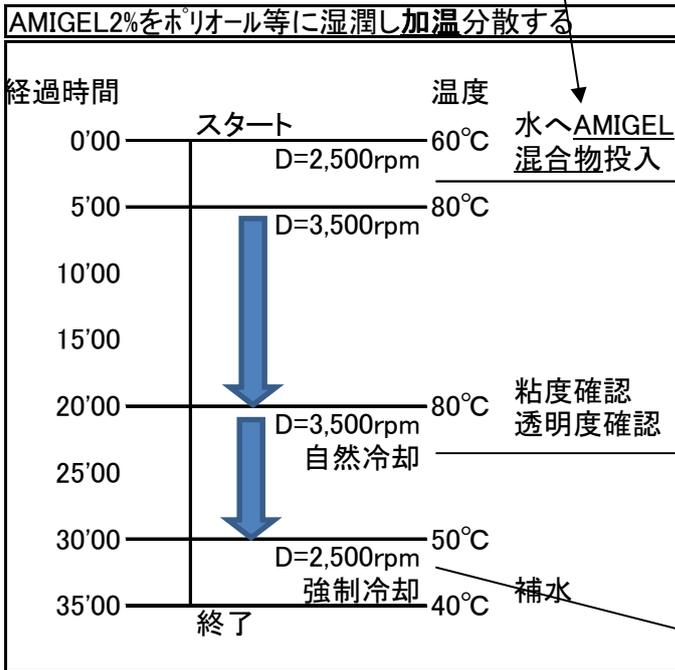
これを水相に入れて膨潤させていく！

ポイント！



混合物をディスペーにて攪拌分散する(D=1000rpm)但し、分散するのみで溶解しない(湿潤)

←左写真のようになる。



60°Cに加温した精製水へ、分散物をゆっくり添加する。(D=2500rpm)・・・回転数は、全体を巻き込むような強さで！

温度をキープしながら、5分間攪拌を続ける。巻き込みが弱い場合、掻き取りを加える



(D=3500rpm)・・・回転数は、全体を巻き込むような強さで！



(D=2500rpm)・・・掻き取りを加え、全体を巻き込むように！

完成！



高温時、低温時も
粘度 7000 前後の寒天状
白濁ゲルが出来ます。



【商品情報】

商品名: AMIGEL

表示名称: スクレロチウムガム

製造元: Alban Muller International(仏)

今まで AMIGEL は低温で離水してしまっておりましたが、この膨潤方法(ヒドロキシエチルセルロースを加えること)により、ゲルの保管が可能になります。



株式会社 マツモト交商

東京本社: 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 4-4-20

TEL 03-3241-5161 / FAX 03-3241-5169

大阪支店: 〒530-0001 大阪市北区梅田 3-4-5(毎日新聞ビル 3F)

TEL 06-6342-1185 / FAX 06-6342-1199

E-mail: yakusho@matsumoto-trd.co.jp

<http://www.matsumoto-trd.co.jp/>